

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	23010		事業名	消防庁舎及び関分署自家用発電設備改修事業			
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()						
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	07:消防力・地域安全の充実				款	09:消防費
		施策の方向	01:消防体制の充実強化				項	01:消防費
		重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト				目	03:消防施設費
事業期間	R 6 年度	～	R 7 年度	主な根拠法令等	-			

評価分類	B2
------	----

担当部署	
部	消防本部
課	消防総務課 消防総務G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	消防庁舎及び関分署の自家用発電設備は、共に老朽化が進んでいるほか、「大規模災害発生時における地方公共団体の業務継続の手引き」(平成28年2月内閣府(防災担当))において求められている措置が講じられていない状態であることから、機能強化をする必要がある。	市民の生命、身体及び財産	自家用発電設備の機能を強化し、災害対応体制の充実強化を図る。	老朽化した自家用発電設備を、高機能な設備に更新する。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度								
	事業計画						○設備設計(業務委託)		○改修工事 ○工事監理								
	活動実績 (計画通り実施できたか)						自家用発電設備の改修工事に向けた基本設計及び実施設計が完了した。		自家用発電設備の設計に含まれる変圧器の基準が改正され、移行期における製造体制の変化や供給体制の逼迫により、納期及び価格の見通しが立たないため、更新ができなかった。								
	計画額	事業費					3,600千円		3,465千円		74,700千円		0千円				
			国・県支出金														
			地方債						2,500千円		2,500千円		73,400千円		0千円		
			その他														
	決算額	事業費	一般財源						1,100千円		965千円		1,300千円		0千円		
									3,465千円				0千円				
			国・県支出金						2,500千円								
			地方債						0千円				0千円				
			その他						0千円								
		一般財源						965千円				0千円					
①期間内計画額(R4-7)			78,300千円			②期間外計画額(R8-)			0千円			①+②総計画額			78,300千円		

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	0千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	改修工事進捗率	実施済み事業費/総事業費	活動	%	計画値			4	100
					実績値			4	0
	設備稼働時間の増加時間数(亀山市消防庁舎)	既存設備に対する設備稼働時間の増加時間数	成果	時間	計画値				20
					実績値				0
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	D	自家用発電設備の設計に含まれる変圧器の基準が改正され、移行期における製造体制の変化や供給体制の逼迫により、納期及び価格の見通しが立たないため、更新ができなかった。
	成果を得られなかった	

(再掲)

事業の対象	事業の目的
市民の生命、身体及び財産	自家用発電設備の機能を強化し、災害対応体制の充実強化を図る。

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	新基準の変圧器の供給体制が整った後に再度事業化する必要がある。

⑦ 事業の 展開 (A)	方向性	
	完了	目的の達成又は周期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定			A	D
事業展開			継続(現状維持)	完了

1次評価者	消防本部 消防総務課 消防総務GL 宮本 明幸
最終評価者	消防本部 消防総務課長 草川 隆